

国際ロータリー第2570地区

行田ロータリークラブ

RI会長：グレン E. エステス シニア / ガバナー：橋田 弥寿男

会長：黒淵陽夫 / 幹事：島崎政敏

例会日：木曜日

午後12時30分開会

会場：アドバンテスト

行田クラブハウス

クラブ会報委員会

委員長：中島捷二 / 副委員長：境野登章

委員：岡田則之、島田修、反町清

大谷浩一、山本栄治

第1882回 例会 (7月1日)

2004～05 国際ロータリーのテーマ
「ロータリーを祝おう」



CELEBRATE
ROTARY

100 Years

会長挨拶 黒淵陽夫 会長



会員の皆様今日は！
いよいよ今日から2004年～2005年度の年度が始まります。

今、大変緊張と不安と入り混じった大変複雑な気持ちでいっぱいです。

前年度、湯本年度に於いては会長、幹事の絶妙なコンビの下、大変すばらしい事業を展開なされ行田ロータリー此処にありといった内容であった

と思います。また会員増強に多くの力を注がれ地区の中で、増強第一位の賞を受けられ私たちも大変感謝申し上げます、ありがたく思っております。

更に100周年委員会の事業では大きな実績を残され、図書館内に行田ロータリー文庫の設置を行い、いまやそのコーナーは近隣の評判を得るまでになっております。

本年度の会長幹事は、前年度の湯本会長、小林幹事と比較してあまり行動力、実行力の無い、ゴルフが大好きだけが取り柄の会長・幹事コンビであります。そういった事から皆様方には一年間大変ご苦労とご心配、御迷惑をおかけするとは思いますがロータリーの友情に免じましてお許しをいただければと思います。

さて開会後の会長挨拶も毎週となりますと種が尽きてしまいます。何か良いアイデアは無いものかと思っておりましたら、先月4日の日に教文館さんの土屋さんのところに出向いたときにこの小冊子が目に留まりました。「漢文を学ぶ」と題する本であります。ぱらぱらとめくってみたら大変良いことが書いてあり、これをロータリーに置き換えて考えても良いかなと思購入いたしました。

毎回なるべく短い時間で置き換えた考えを皆様方に披露しながら挨拶に出来ればと思います。

まず、最初のところは「己の欲せざる所は、人に施すこと勿れ」という文であります。これは孔子の弟子の子貢が孔子に人の一生を通じて実行しなければならぬことを問うたときに孔子が答えた内容です。「自分が人からされたくないことは、自分人にはしてはいけない。」ということではありますが、逆に考えて、人にしてほしいと思っていることは、

自分も人にしてあげるべきだ。ということになると思います。ロータリークラブも親睦、奉仕事業どれもやって欲しいことを人にしてあげるべきだという考えに則って行えば大変すばらしいクラブになるのではないかと思います。ぜひ皆さんもこの一年、して欲しい事を人にしてあげようではありませんか。宜しくお願いいたします。

本年度は誕生祝については鈴木会員にお世話になり、斉藤委員長はじめ親睦委員会の皆さんのお考えにより「セレクトできるフルーツのギフト」にいたしました。お楽しみ頂きたいと思ます。

理事会の報告等は幹事から行いますが、事務局の青柳さんのことに関して私のほうからみなさんにご報告申し上げます。実は当クラブの退職金規定の中に定年の項が無かったものですから、前年度の理事会で決定し、60歳を定年とするということにさせて頂きました。この時点ですでに青柳さんは60歳を過ぎておりましたので規定に沿った退職金をお支払い致す事として、理事会の決定に沿った内容を提示し、囑託としての継続をおはかりしましたのですが、残念ながら合意に達しませんでした。従って6月30日で、定年で退職ということになりました。しばらくの間事務局不在ということになり皆様方には大変御不自由をおかけいたしますことになりませんが宜しくお願いいたしたいと思ます。

以上で会長挨拶に代えさせていただきます。



2004～2005年度方針 黒瀧陽夫 会長

行田ロータリークラブ第39代会長として本日より一年間皆様のご協力の下、無事任務を全うできるかどうか、その責任の重大さを考えたとき、大変不安であります。

すでに40年になるろうとしている歴史あるクラブの会長として本当に大丈夫かどうか、皆様方の御協力が無ければ、もちろん全く何も出来ません、ぜひ皆様方のご協力を重ねてはじめてお願いいたします所存であります。宜しくお願いいたします。

さて本年度のR Iのメインテーマは申すまでも無く100周年であります。

一口に100年といっても昔は国家100年の計などといわれ長期間の代名詞のようでありましたが、考えて見ますと私も、多くの皆さんもおよそその半分を人生で過ごしているわけでありまして。自分の人生を振り返ってみたときその長さは長かったでしょうか、どちらかといえば短く感じる人のほうが多いのではないかと思います。それは皆さんがそれぞれ充実した人生を送ってこられたからに違いありません。

ロータリーの100年は人生ほどではないにしてもその期間になされたことを考えて見ますと長いようで大変短い100年ではなかったのでしょうか？それほど多くのことが実行されてきました。

行田ロータリーも私で第39代目になります。38年間になされてきたことを思い出してください。きっと多くの思い出が思い出されると思います。

私はちょうど20周年の年に入会いたしました。当時の20周年の記念誌を紐解いてみてメンバーの変遷に驚きを感じました。

沢山の方々がおられました、今年度幹事をお願い

いただいた島崎幹事のお父さんがご健在で、写真に写っておられました。先日のパスト会長会の席上で会長幹事が2世メンバーであるのは初めてではないかとの指摘があり、改めて月日の過ぎるのが早いなと感じたわけでありまして。

その記念誌にはまた多くの事業も紹介されておりました。素晴らしい事業の数々、そのどれもが素晴らしいメンバーによって実行されてきたわけでありまして。

そういったことを考えると、昨年湯本年度で沢山の会員の増強が図られ、行田ロータリークラブの活性化が図られました事は、まことに素晴らしいことだと思います。また大変であったと思います、増強に改めて感謝申し上げたいと思います。

さて今年は増強によってその培われ活性化した内部の力を、外に向けての力にするべく取り組みたいと思います。基本的な考え方は「活動から運動へ」、といったことでもあります。

私は、ロータリーの基本的な考え方は、いかにして良い地域社会を作り上げていくかではないかと思っております。

私の考えは、少し考え方が違っているかもしれませんが、しかし私たちロータリアンは企業人として、又地域に住む社会人として、奉仕を通じてその社会に貢献することが課せられた使命であると思っています。

具体的に言えば、それが職業奉仕であり、社会奉仕であるのではないのでしょうか。そしてその力を海外に向けたものが国際奉仕と捉えられるのではないかと思います。

(次頁へつづく)



新旧・会長幹事、 交代の握手

よく赤字企業は、社会の悪である言われていますが、それは企業のあげた利益が、地域行政に還元され地域社会づくりに大きく貢献するからである、と思っています。又、企業は同様に社員の雇用を通してやはり地域の活性化に貢献しております。

逆に考えますと私たちは、地域社会に生かされているといっても良いのではないかと思います。従ってその存在する社会に奉仕をすることは、企業人、社会人としてごく当然の成り行きではないかと思えます。その奉仕を、内部の活動から外部への運動へと変えるための模索をしてみたいと思えます。その為には当然内なるなるエネルギーを外に向ける為、先ずメンバーの結束が必要であります。

つまり、親睦を通し各会員の意思の疎通を図り、培われた友情の火を大きくすることです。又組織を効率よく運営する事も必要であります。



先ず、副会長を1名にし、新たに会長補佐という役を4大奉仕委員長のクラブ奉仕委員長を除いて、3名にお願いすることとします。これは会長職の代行を副会長にだけをお願いしてきましたが、どうしても組織上にそれぞれの役割を明確にして、真の意味での潤滑油としての役割を担って頂きたいと思いが有り、新たに会長補佐という役を作りました。各補佐の方々にはそれぞれ4大奉仕の委員長として各委員会のまとめ役もお願いいたしたいと思えます。そのことにより、各委員会が会長補佐（4大奉仕）の下に横の連絡も取れるのではないかと考えてみました。

そして例会は、本来の形のSAAに管理していただき、開会、閉会の決定、会合プログラムの時間管理、例会場の秩序管理を行い、厳粛なる例会運営を行っていただきたいと思えます。

司会進行等の運営に関しては親睦委員会にお手伝いをお願いいたし進めていただければと思えます。その意味でSAAの人員は従来に比較して、少し増やしておきました。また昨今のメンバー構成を考えてみますと事業の先頭に立って仕事をしている方が増えてきております。そこで夜間例会の開催を昼間と同じスタイルで行っていき、出席しやすい環境作りをして活発な例会活動に行きたいと思えます。

重点事業についてであります。まず最初に今年も100周年特別委員会を設置して行田市の図書館に児童書の寄付を行っていきたくと思えます。もうすでに教文館さんをお願いいたして選書については完了しており、リストも参っております。後は図書館の受け入れ業務が完了すればよいところまで来ており、7月の24日に行田市に贈呈をする手はずになっております。贈呈と同時に渡辺委員長からもご提案があり読書の効用をもっと市民に浸透させる必要があると考え、読み聞かせグループの拡大化を図ればと思えます。

皆さんご承知のように毎年4月23日は「子ども読書の日」と決められ、平成13年12月12日に公布後すぐに施行されました。

その法律の第2条「基本理念」の項に読書の効用についてかかれてあり、読書とは子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をよりより深く生きる力を身につけていくうえで欠くことのできないものであるとうたっております。また第7条に「国及び地方公共団体は民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。」と明記されており行政とのタイアップも可能になっております。果たして行政がどこまで足並みをそろえてくれるかは分かりませんが、最大限努力をしていきたくと思えます。

次に「アジアの子供たちの絵日記展」の開催であります。

1990年に国連によって全ての国々の人々が読み書きできる世界を目指して制定された「国際識字年」はそれを契機として多くの国々で着実に実績を上げてきており、国際ロータリーもこの事業を主たる事業として捉えて推進してきております。

この「アジアの子供たちの絵日記集」は、三菱 IMPRESSION-GALLERYによって「国際識字年」制定記念事業として実施されて来ており、国際的に高い評価を得ているものでありご覧になると大変感銘を受けるものであると思えます。

そして7月24日から8月29日の夏休み期間中に開催を博物館にお願い致しており、ちょうど子供たちの夏休みの宿題の題材にもなるのではないかと考えております。7月24日は例会扱いとさせて頂きましたのでオープニングセレモニーには横田昭夫行田市長もお見えになりますので沢山の皆さんのご参集をお願いいたします。

次は「城中ロータリークラブとの姉妹クラブ締結」の更新であります。1996年10月5日、当時の清水会長のもと山田会員のお骨折りによって30周年の記念式典で友好クラブの締結をされてから8年がたちました。2年後に友好クラブから姉妹クラブへ発展し今年更新の年に当たっております。国際奉仕運動の大きな成果が期待される姉妹クラブの活動は、提携時にそれぞれのクラブが10万円ずつ出し合ってお互いのクラブで社会奉仕運動に使っていくことが確認されております。いわばマッチンググランツとしての国際奉仕活動となっており、このことも多くの会員にご認識いただきたいと思えます。本年は先方に出向いての更新となります、ぜひ多くの皆さんで盛大に更新を行っていきたくと思えます。

「白河ロータリークラブとの児童交流事業」の推進でございますが、前年度湯本年度で大変大きな意義深い交流をして頂き、子供たちも大きな財産を得たと思えます。本年度は白河に出向いての交流事業になります。開催については白河ロータリーとよく打ち合わせをしながら行っていきたくと思えます。

(次頁へつづく)



読書は考える力を育て、音楽は人を愛する心を育てると思っています。日本にも昔から童謡などで歌い継がれた素晴らしい音楽があり、私たちの心の奥深く根付いて、ふとした時に何気なく口ずさむことが出来るのは心を和ませるからだと思えます。胎教に音楽が使われるのも、そういった効果があるからになります。子供のころに聞いた歌、歌った歌、演奏した歌。そのどれもが大人になるための大きな栄養素になっているのだと思えます。

今年も「スクールバンドフェスティバル」を開催して、心の優しい温かみのある、そして感性豊かな子供育てて頂くことを期待したいと思います。

最後になりましたが「IM」の開催を主管していきます。本年度諸貴ガバナー補佐を当クラブは地区に送り出しております。従いましてIMを主管していかねばなりません。近隣クラブとの融和を図りつつ、意義深いIMの開催を行っていきたくと思えます。皆様方の絶大なるご協力をお願いいたします。

重点事業ということではありませんが、インターネットでの情報交換、連絡をよりスムーズにして内容の充実したIT活動にしていきたいと思えます。未だITになじめない方々も少しずつ体験して言っていただきたいと思います。後何年かすると多くの部門でITを利用するようになると思えます。すでに公的な部門でも電子証明書を利用した電子申請、電子納付などが始まってきており、株式会社の株主総会の議決なども実行され始めております。ゆくゆくはあらゆる部門でそのような形になって否応無しに利用しなければならぬ時代が来ると思えます。近いうちに職業分類の中にもIT関係の職業が増えることは間違いなくと思えます。会員の皆様方も今から準備をしていくことをお勧めいたします。

以上で本年度の基本的な考え、及び重点事業について述べさせて頂きました。

いずれにしましても最初に申し上げましたとおり、会員の皆様のご協力がないと何一つ出来ません。ぜひ皆様方のご協力を重ねてお願いいたしまして、本年度の方針にさせて頂きます。

幹事報告 島崎政敏 幹事



黒淵会長のもと、一年間幹事を勤めさせて頂き、皆様のご指導ご協力をよろしくお願い申し上げます。

①前年度の週報コンクールに当クラブが入選、高山孝ガバナーより賞状と手紙が届いております。

②今年度の誕生祝は、グルメチョイス。季節の果物をお選びください。

③事務局員不在のあいだの金銭出納は会計の小島会員と幹事の私で行います。

④メイクアップの対象となる会合について、理事会において会長幹事が認める会合は対象とすることが決まりました。またその会合がメイクアップの対象か否かは案内文に明記し、メンバーに事前にお知らせする事となりました。

⑤会費徴収時期は7月15日と1月14日です。

ニコニコ報告

- ☆黒淵会長 一年間皆様にお世話になります。大変お世話になります。一年間皆様のご協力をお願い申し上げます。
- ☆島崎幹事 黒淵年度のスタートを祝して。昨年はお世話になりました。黒淵年度、はりきってください。黒淵会長・島崎幹事、一年間がんばろう。自らの姿勢と社会を公明で、公正なロータリーを創りましょう。
- ☆湯本会員 黒淵会長ご苦労様、おめでとう。島崎幹事一年ご苦労様。
- ☆小林会員 黒淵会長・島崎幹事年度スタートを祝します。年度計画書のカバー表紙、会長の意気込み良くわかります。頑張ってください。
- ☆永島会員 青柳さん、長い間の勤務ご苦労様でした。
- ☆佐藤会員 黒淵・島崎年度きびしい出発となりましたが、頑張ってください。
- ☆内山会員 親睦委員長で一年間、お世話になります。いたらないところがあるかと思いますが、ご指導のほどよろしくお願いたします。
- ☆石塚会員 黒淵・島崎年度船出おめでとうございます。今年度プログラム委員長をおおせつかりますが、メリハリのある内容にしたいと思っています。よろしくお願いたします。
- ☆小山会員 音楽文化委員会一年間よろしく。出席奨励委員会で一年間お世話になります。
- ☆斉藤会員 会計の役職を、おおせつかりました。よろしくお願いたします。
- ☆福島会員 本年度社会奉仕委員長としてお世話になります。よろしくお願いたします。
- ☆持田会員 笹谷君の救援活動にご協力有難うございます。
- ☆小椋会員 黒淵年度出発おめでとうございます。
- ☆小島会員 黒淵・島崎丸出航おめでとうございます。
- ☆稲垣会員 湯本さん小林さん一年間ご苦労様でした。黒淵会長、島崎幹事よろしくお願いたします。
- ☆黒淵島崎年度を祝して。長島隆行会員、山田会員、森嶋会員、武田会員、山本憲作会員、植田会員、大谷会員、小川会員、古沢勇治会員、坂本会員、清水泰治会員、石塚会員、鈴木会員、横田会員、木村義会員、石渡会員、小池利昌会員、蔭山会員、萩原会員、碓井会員、清水治雄会員、岡田会員、境野会員、田山会員、武井会員、反町会員
- ☆江袋会員 スマイルボックス委員会でお世話になります。

合計¥193000

委員会報告

渡辺100周年記念事業実行委員会委員長



①今年度の当委員会の事業活動テーマは「子供の読書推進を広げよう」です。読書ボランティアの方々に支援、協力をして読書推進を進めて行こうと思います。
(前年度に続き今年度も児童図書寄贈をする)

②7月24日アジアの子供たちの絵日記展オープニングにて行田市長へ図書寄贈目録の贈呈式、7月28日(午前10:30より)行田市立図書館にて図書贈呈除幕式、多勢の参加をお願いします。

7月28日(午前10:30より)行田市立図書館にて図書贈呈除幕式、多勢の参加をお願いします。

坂本青少年交換 委員会委員長



1年間のアメリカ留学を終えて不動岡高校生の田島早希さんが帰ってきます。
(関係者で迎えに行きます)
7月15日帰国報告をする予定です。

小林前年度幹事

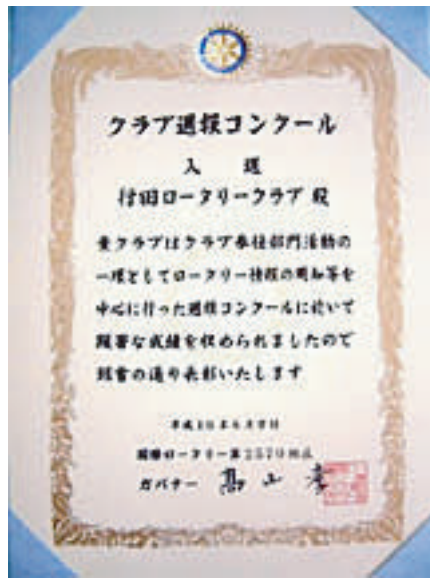


湯本年度の決算が本日理事会において承認されました。会員の皆様へ決算書を配布しますので御覧下さい。
一年間ありがとうございました。

清水義夫会員



ウィルソン病と言う難病があり、その救援活動に対して絶大なる御支援をお願いします。(一口1000円以上)



クラブ週報コンクール
入選

結婚・誕生祝い



◎結婚祝い 福島会員



◎誕生祝い 湯本会員、武笠会員、中島会員、廣川会員、山本栄治会員、横田会員、樋川会員

出席報告

正会員数	73名	内義務規定出席者	11名
出席免除者	12名	メイクアップ	2名
本日の出席者	51名	出席率	72.60%